

**電子入札/入札情報システム
事前準備マニュアル
～受注者編～**

平成 28 年 5 月

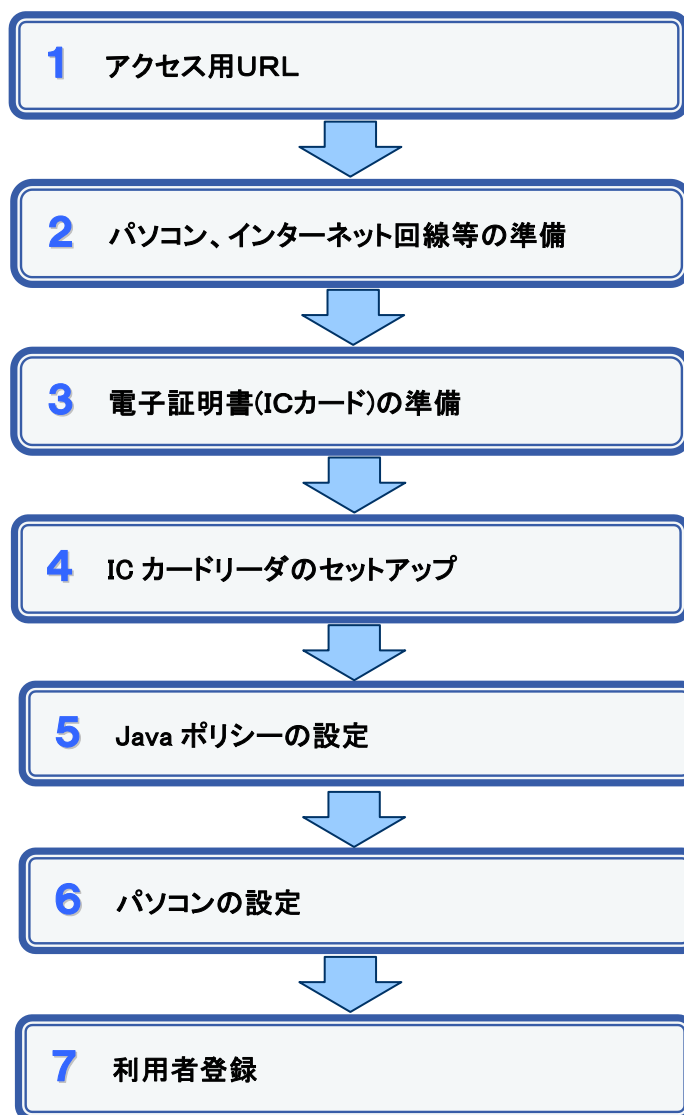
変更履歴

変更日付	変更項目	変更内容
平成 26 年 1 月 21 日	初版	
平成 26 年 2 月 3 日	アクセス URL	URL を掲載。 Internet Explorer10 の記述を追加（別紙 1 動作環境について）。
平成 26 年 5 月 30 日	動作環境	動作環境サポート対象を変更。 （追加）Windows8.1 （削除）WindowsXP、Windows 7 SP 無し、 JRE6
平成 27 年 12 月 29 日	動作環境	動作環境サポート対象を変更。 （追加）Windows8、JRE8.0
平成 28 年 5 月 31 日	動作環境	別紙 1 を別ドキュメント「電子入札システム動作環境」に分離。
	3.（入札情報システムを Internet Explorer 9 でご利用になる場合）ブラウザの互換表示設定を行う	「3.（入札情報システムを Internet Explorer 9 でご利用になる場合）ブラウザの互換表示設定を行う」を削除。 「3. 例外サイト・リストを追加する（JRE8 をインストールしている端末のみ）」を追記。

はじめに

電子入札システム／入札情報システムをご利用いただくためには、事前準備をしていただく必要があります。事前準備の流れは、以下の通りです。

(それぞれの準備内容は、各章を参照してください。)



1 電子入札システム／入札情報システム アクセス用URL

電子入札システム／入札情報システムをご利用いただくために、必要なアクセス用URLを以下に示します。

(ア) 工事

システム	URL
電子入札システム	https://www.ep-bid.supercals.jp/ebidAcceptor/index.jsp?KikanNo=1390400
入札情報システム	https://www.ep-bis.supercals.jp/ebidPPIPublish/EjPPIj?KikanNO=1390400

(イ) 物品

システム	URL
電子入札システム	https://www.ep-bid.supercals.jp/ebidGoodsAcceptor/index.jsp?KikanNo=1390400
入札情報システム	https://www.ep-bis.supercals.jp/ebidPPIGPublish/EjPPIj?KikanNO=1390400

2 パソコン、インターネット回線等の準備

電子入札システム／入札情報システムをご利用いただくために必要なパソコン、インターネット回線等をご用意ください。

- ・ インターネットに接続されているパソコン
- ・ 電子証明書(ICカード) (購入時に付属の関連ソフトも含む)
- ・ ICカードリーダー(ICカードリーダー購入時付属のドライバも含む)
- ・ プリンタ(A4サイズ以上) ※必要に応じて

※パソコンのスペック等詳細は、「**電子入札システム動作環境**」をご覧ください。

3 電子証明書(ICカード)の準備

電子入札システム／入札情報システムをご利用いただくためには、コアシステム対応認証局が発行した電子証明書(ICカード)(有料)が必要になります。電子証明書(ICカード)の購入方法は、各認証局にお問い合わせください。

電子証明書(ICカード)の購入にあたっては、住民票等を用意していただくことになります。また、購入から実際に電子証明書(ICカード)が手元に届くまで、ある程度の日数が必要になります。そのため、日数に余裕を持って、購入していただくことをお勧めします。

※電子証明書(ICカード)の購入先は「コアシステム対応認証局お問い合わせ先一覧」
(<http://www.cals.jacic.or.jp/coreconso/linkpage/link5/link5j/link5j-3toiawaseitiran.htm>)
をご参照ください。

4 ICカードリーダーのセットアップ

電子証明書(ICカード)に対応しているICカードリーダーをセットアップしてください。詳細は、ICカードリーダーの説明書、又はご購入された各認証局へお問い合わせください。

5 Java ポリシーの設定

IC カードリーダーの説明書に従い、Java ポリシーに次の発注機関名と URL を設定します。

発注機関名	日本銀行電子入札
URL	https://www.ep-bid.supercals.jp/

6 パソコンの設定

電子入札システム／入札情報システムをご利用いただくために、必要なパソコンの設定を行います。

具体的な設定方法は、「別紙1 パソコンの設定方法について」をご参照ください。

7 利用者登録

上記の準備が整いましたら、電子入札システムへ利用者登録を行います。

利用者登録の操作方法については、操作マニュアルをご参照ください。

別紙 1 パソコンの設定方法について

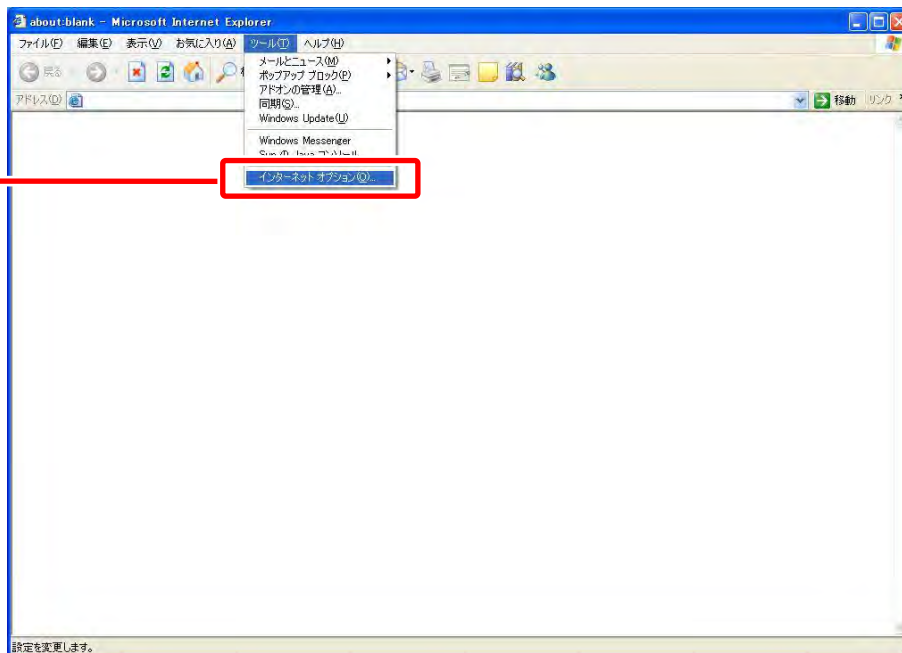
1. 信頼済みサイトへの登録

Step 1 Internet Explorer の「ツール(T)」-「インターネットオプション(O)」をクリックする

Step 2 「インターネットオプション」画面が表示される



「本システムを信頼済みサイトへ登録します」へ進みます



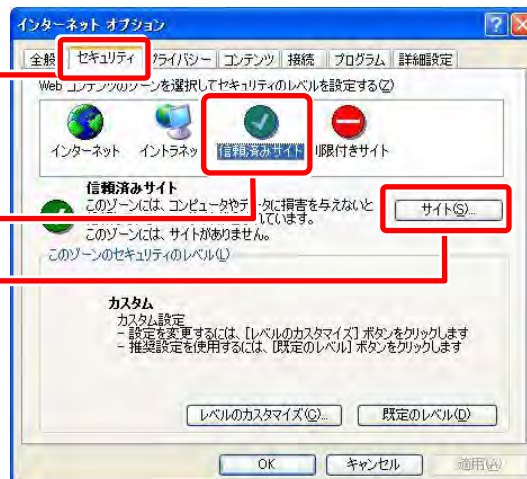
【 本システムを信頼済みサイトへ登録します 】

Step 1 「セキュリティ」タブをクリックする

Step 2 信頼済みサイトををクリックする

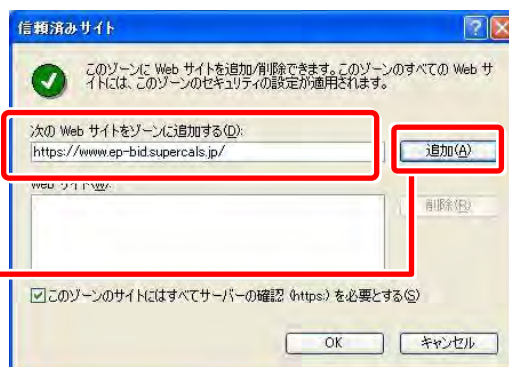
Step 3 サイト(S)ボタンをクリックする

Step 4 「信頼済みサイト」画面が表示される

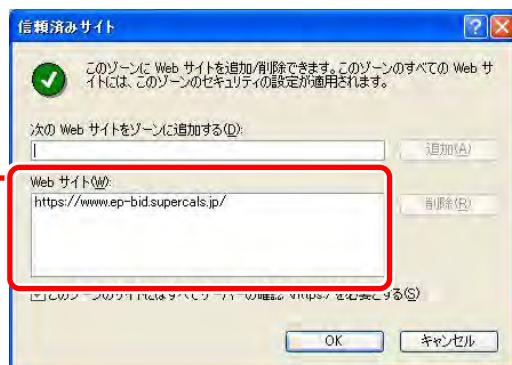


Step 5 次の Web サイトをゾーンに追加する(D)に「<https://www.ep-bid.supercals.jp/>」と入力する

Step 6 追加(A)ボタンをクリックする

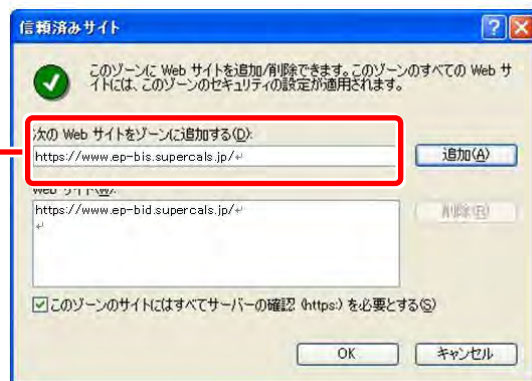


Step 7 Web サイト(W)に入力した URL が表示される

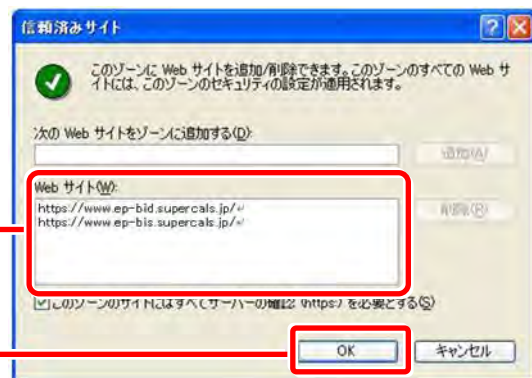


Step 8

「Step 5」と同様に
「<https://www.ep-bis.supercals.jp/>」と
入力し、「Step 6」～「Step 7」を繰り返す

**Step 9**

Web サイト(W)に以下2つの URL が表示さ
れていることを確認する
https://www.ep-bid.supercals.jp
https://www.ep-bis.supercals.jp

**Step 10**

OK ボタンをクリックする

Step 11

「インターネットオプション」画面が表示される



「信頼済みサイトのセキュリティレベルを確認します」へ進み
ます

【 信頼済みサイトのセキュリティレベルを確認します 】

Step 1 「このゾーンのセキュリティのレベル(L)」を確認する

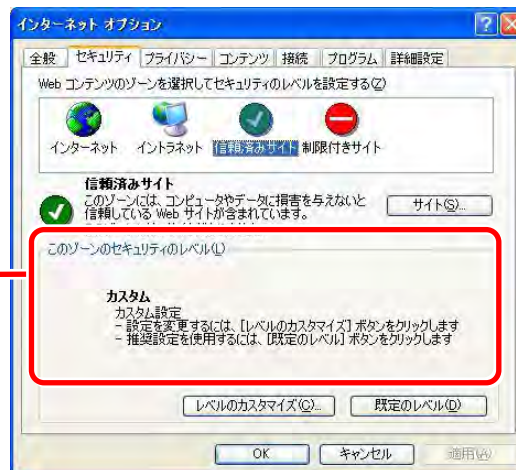


レベルが「低」の場合

ここで設定終了です。
(「低」がこのゾーンの既定のレベルとなります。)

レベルが「カスタム」の場合

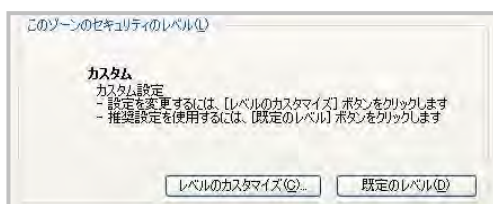
下記の注意をよく読み、「信頼済みサイトのセキュリティレベルを設定します」へ進みます。



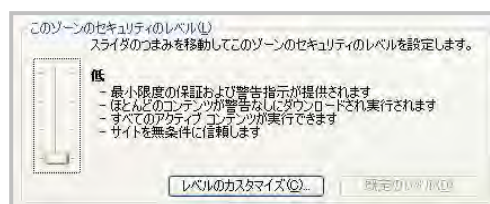
注意

セキュリティレベルが「カスタム」になっている場合は、他のシステムを使用するために設定が変更されている可能性があります。セキュリティレベルの設定変更を行っても問題がないか確認してください。変更ができない場合は、別に専用のパソコンを準備するなどの対策をお願いします。

レベルが【カスタム】の場合



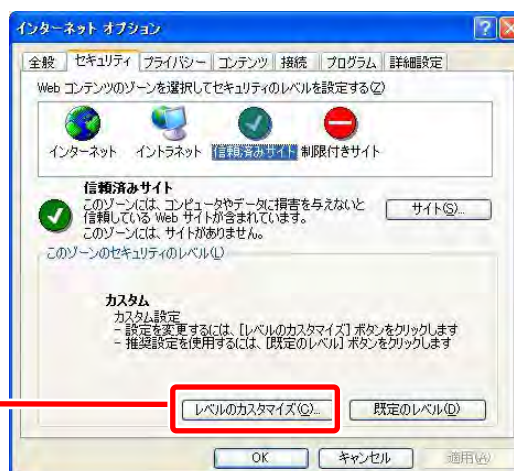
レベルが【低】の場合



【 信頼済みサイトのセキュリティレベルを設定します 】

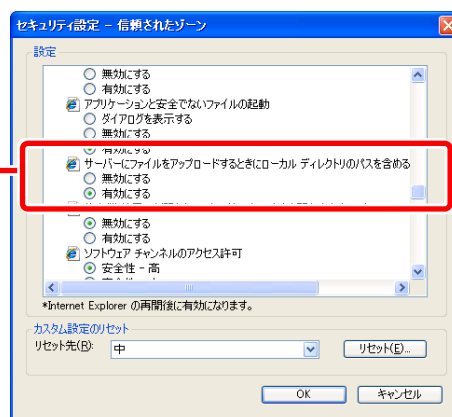
Step 1 レベルのカスタマイズ(C)ボタンをクリックする

Step 2 「セキュリティの設定」画面が表示される

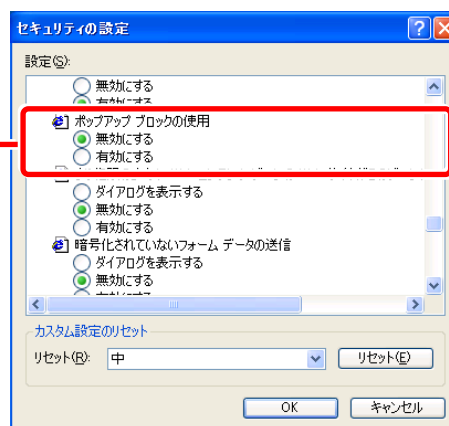


Step 3

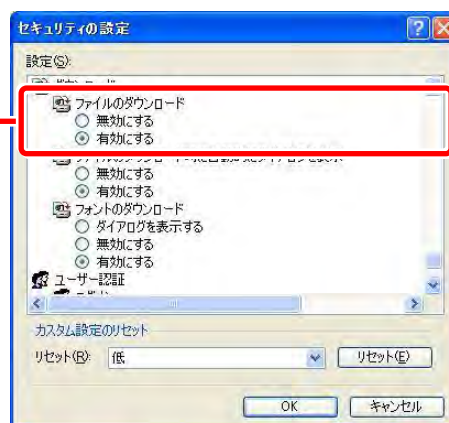
「サーバーにファイルをアップロードするときにローカルディレクトリのパスを含める」を「有効にする」に設定する (Internet Explorer 7/8 のみ)

**Step 4**

「ポップアップ ブロックの使用」を「無効にする」に設定する

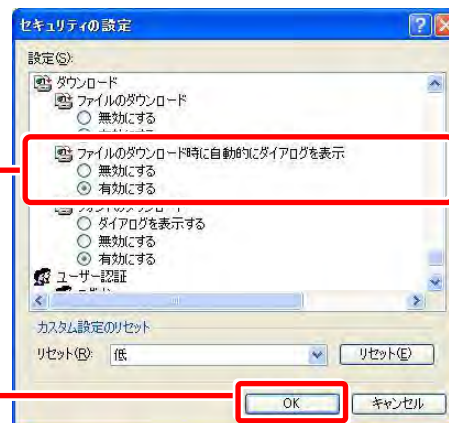
**Step 5**

「ファイルのダウンロード」を「有効にする」に設定する



Step 6

「ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示」を「有効にする」に設定する

**Step 7**

OKボタンをクリックする

OK

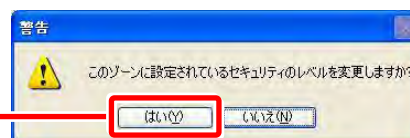


ワンポイント

Internet Explorer のバージョンによっては、Step3～Step6の項目がない場合があります。
その場合は設定を行う必要はありません。

Step 8

「このゾーンに設定されているセキュリティのレベルを変更しますか？」画面が表示される

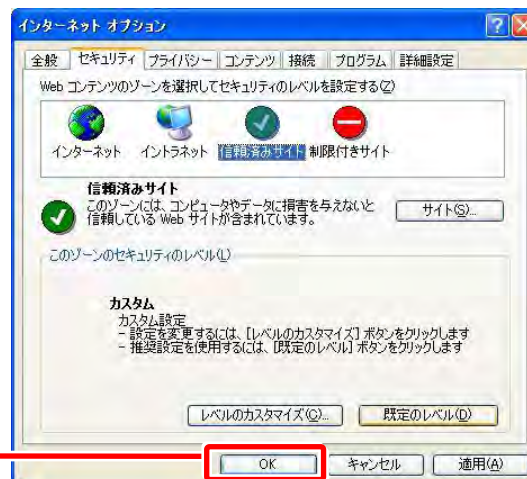
**Step 9**

はい(Y)ボタンをクリックする

はい(Y)

Step 10

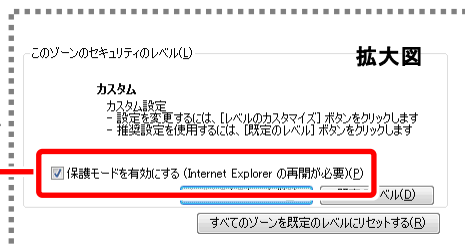
「インターネットオプション」画面に戻るので、OKボタンをクリックする





ワンポイント

Internet Explorer7で表示される、「**保護モードを有効にする(Internet Explorer の再開が必要) (P)**」のチェックは、有効・無効どちらでもかまいません。



SOS

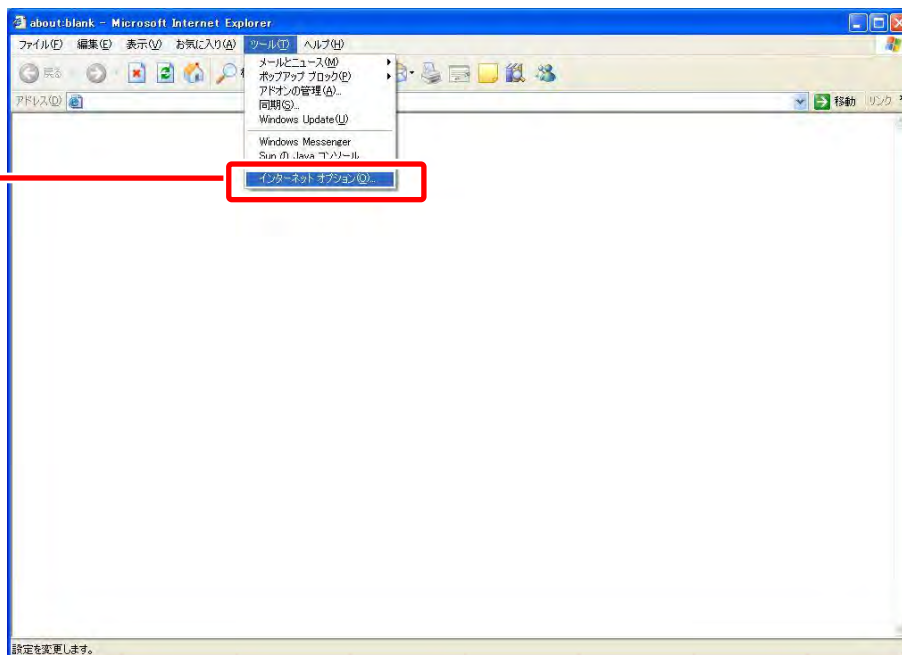
お困りのときは

信頼済サイトの設定をしてもシステムが正常に動作しない場合

ご利用のパソコンの Internet Explorer に、機能拡張ソフトウェア (例: Yahoo ツールバー、Google ツールバー、MSN ツールバーなど) が組み込まれている可能性があります。この場合は2. サードパーティ製のブラウザ拡張を無効にする を参照し、サードパーティ製のブラウザ拡張を無効にしてください。

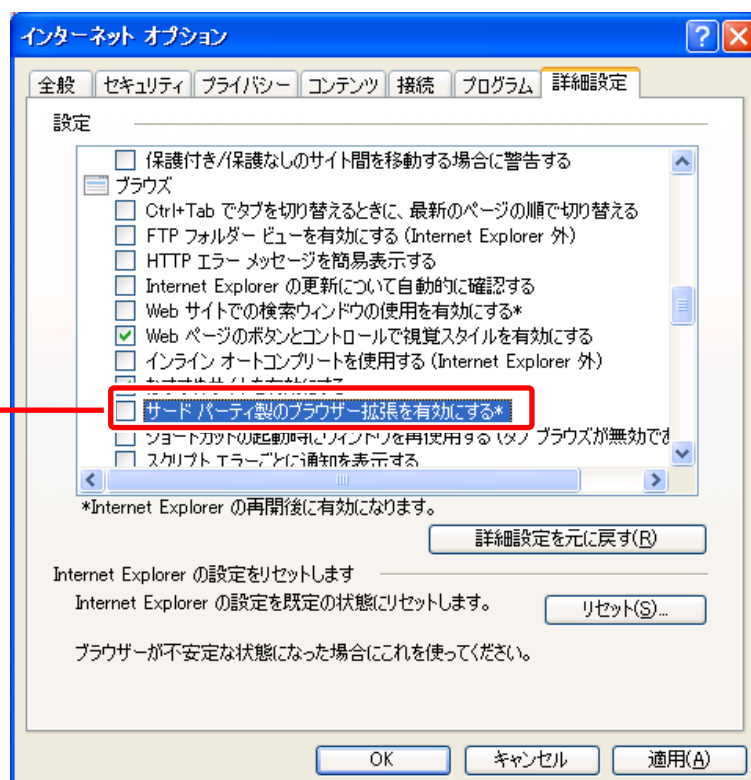
2. サードパーティ製のブラウザ拡張を無効にする

Step 1 Internet Explorer の
[ツール(T)]-[インター
ネットオプション(O)]
をクリックしてくださ
い。



Step 2 [インターネットオプシ
ョン]画面が表示され
るのを確認してくださ
い。

Step 3 [詳細設定]タブ-[ブラウズ]-[サード
パーティ製のブラウザ拡張を無
効にする]のチェックを外し、無効
に設定してください。



Step 4 設定完了後、[OK]をクリックし、
画面を閉じてください。

Step 5 全ての Internet Explorer を ×
ボタンで閉じてください。

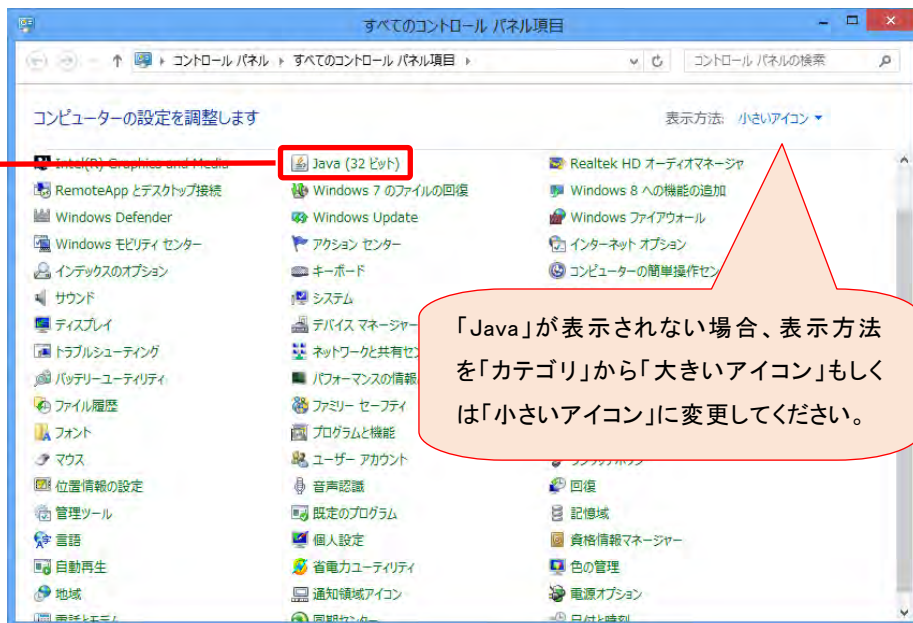
3. 例外サイト・リストを追加する(JRE8 をインストールしている端末のみ)

※例外サイト・リスト追加は、各認証局により手順が異なるため、各認証局の HP 等をご確認ください。

ご参考として、以下に直接追加する手順を記載いたします。

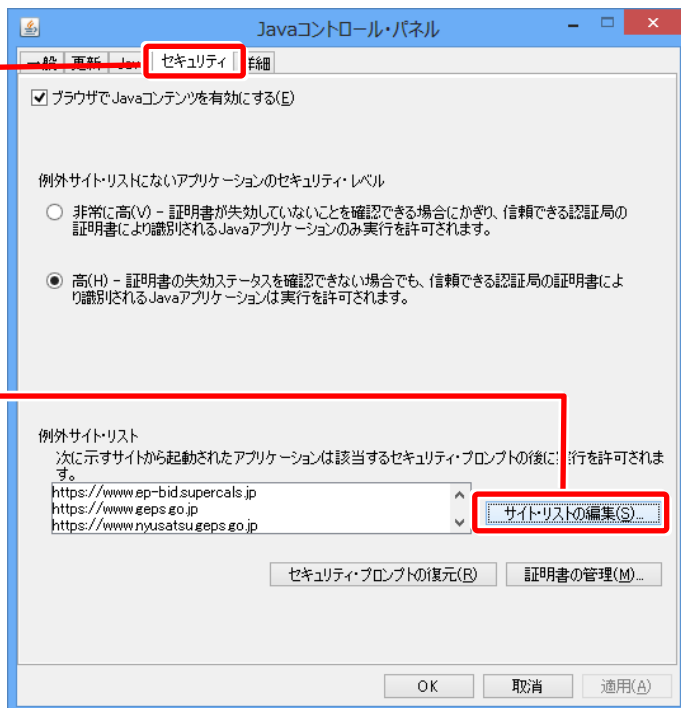
Step 1

「コントロールパネル」を開き、「Java」をクリックし、「Java コントロールパネル」を立ち上げてください。



Step 2

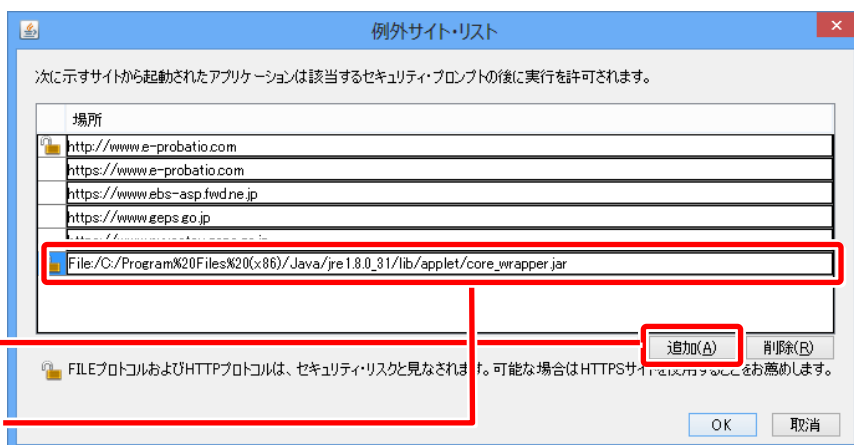
「セキュリティ」タブを選択してください。



Step 3

「サイト・リストの編集(S)」をクリックしてください。

Step 4 「追加(A)」ボタンをクリックしてください。



Step 5 以下のワンポイントを参考に、URL とファイル名を入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。



ワンポイント

例外サイト・リストの追加について、下記の①、②、③を入力してください。

- ① <https://www2.ep-bid.supercals.jp>
- ② <https://www2.ep-bis.supercals.jp>
- ③ file:/C:/Program%20Files%20(x86)/Java/jre1.8.0_xx/lib/applet/各認証局固有のプログラム名

→③につきましては、「各認証局固有のプログラム名」の格納場所を含めたフルパスで、先頭に「file:/」を記載し、「¥」を「/」に、半角スペースを「%20」に変換して入力してください。

(注)

③の URL で下線のある箇所については、お使いのパソコン環境により異なります。

- ・C → JRE のインストール先のドライブ名
- ・Program%20Files%20(x86)
 - Program%20Files%20(x86) …64 ビットパソコンの場合
 - Program%20Files …32 ビットパソコンの場合
- ・jre1.8.0_xx ※0 と xx の間は「_」です。
 - 「xx」はインストールした JRE8 の Update「xx」の数字
- ・各認証局固有のプログラム名
 - 各認証局の手順書等をご確認ください。

変換例: 64 ビットパソコンに JRE1.8.0_31 をインストールした場合

C:¥Program Files (x86)¥Java¥jre1.8.0_31¥lib¥applet¥各認証局固有のプログラム名

⇒file:/C:/Program%20Files%20(x86)/Java/jre1.8.0_31/lib/applet/各認証局固有のプログラム名

※③について、ご不明な点があれば、ご利用の認証局にお問い合わせください。

※ご利用の認証局によっては、例外サイト・リストが自動設定され、手動での追加が必要ない場合があります。



注意

JRE8 はリビジョン毎にフォルダが作成されるため、JRE8 をリビジョンアップすると、JRE8 のフォルダが追加されます。JRE8 をリビジョンアップする際は、電子入札システムクライアントソフトウェアを再インストールする必要がありますので、ご注意ください。

(古い JRE8 は動作不良の原因となる場合がありますので、アンインストールしてください。)

4. (JIS2004 フォントパッケージをご利用の場合)フォントの設定を行う

Windows クライアント環境において、電子入札システムで文字入力操作を行う場合には、下記対応を実施した Microsoft IME (Windows 標準のIME 又はMicrosoft Office 付属のIME)をお使いください。

- ・Windows Vista の場合
- ・Windows 7 の場合
- ・Windows 8.1 の場合
- ・Microsoft Office IME の場合

(各OSで、入力言語に「Microsoft Office IME」を使用している場合に追加で設定してください)

電子入札システムはJIS第一水準、JIS第二水準文字のみ使用可能となっています。

以下の主な使用できない文字以外にも、半角カタカナ、JIS第一水準・第二水準以外の文字、環境依存文字(主な文字：崎、高、徳、濱、頼、瀬、柳、杓、愷)、外字は、使用できませんので注意してください。

[主な使用できない文字]

コード				8160	8161	817c	8191	8192	81ca							
文字				～	//	—	¢	₹	₹							
コード	8740	8741	8742	8743	8744	8745	8746	8747	8748	8749	874a	874b	874c	874d	874e	874f
文字	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
コード	8750	8751	8752	8753	8754	8755	8756	8757	8758	8759	875a	875b	875c	875d	875e	875f
文字	⑰	⑱	⑲	⑳	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X		ミリ
コード	8760	8761	8762	8763	8764	8765	8766	8767	8768	8769	876a	876b	876c	876d	876e	876f
文字	キロ	センチ	メートル	グラム	トン	フェル	ヘクタール	リットル	フット	ガロン	ドル	セント	ポンド	リール	グー	mm
コード	8770	8771	8772	8773	8774	8775	8776	8777	8778	8779	877a	877b	877c	877d	877e	877f
文字	cm	km	mg	kg	cc	m ²									平成	
コード	8780	8781	8782	8783	8784	8785	8786	8787	8788	8789	878a	878b	878c	878d	878e	878f
文字	“	”	No.	KK	TEL	Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓓ	Ⓔ	(株)	(有)	(代)	明治	大正	昭和
コード	8790	8791	8792	8793	8794	8795	8796	8797	8798	8799	879a	879b	879c	879d	879e	879f
文字	≡	≡	∫	∫	Σ	√	⊥	∠	⊥	∠	∴	∩	∪			

【 Windows Vista の場合 】

(1) Windows Vista クライアント環境にJIS90 フォントパッケージをインストールします。

手順については、下記URL を参照してください。

Windows Vista 向けJIS90 フォントパッケージ:

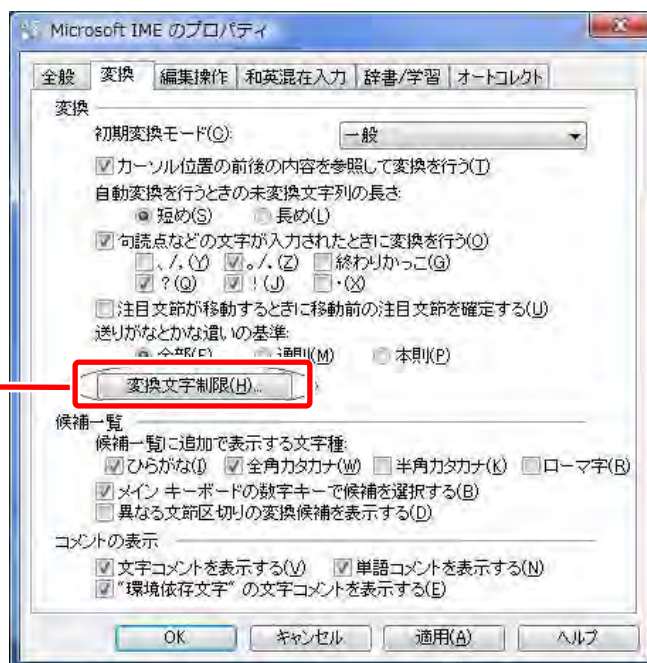
http://www.microsoft.com/japan/windows/products/windowsvista/jp_font/jis90/default.mspx

※上記パッケージの適用により、対応するタイプフェイス(フォント)に限り、画面上に表示される字形がJIS90 フォント環境と同等になります。対応するタイプフェイス(フォント)の詳細については上記URLを参照してください。また、このパッケージにはJIS2004 にて追加された文字(JIS90 フォント環境では使用できない文字)の入力を制限する機能が含まれていないことを確認していますので、コアシステムクライアント環境として使用する場合には、必ず下記(2)の対応をあわせて実施してください。

(2) 日本語入力用IME での変換対象を従来の「JIS90」に制限します。以下にMicrosoft IME における対応方法を示します。

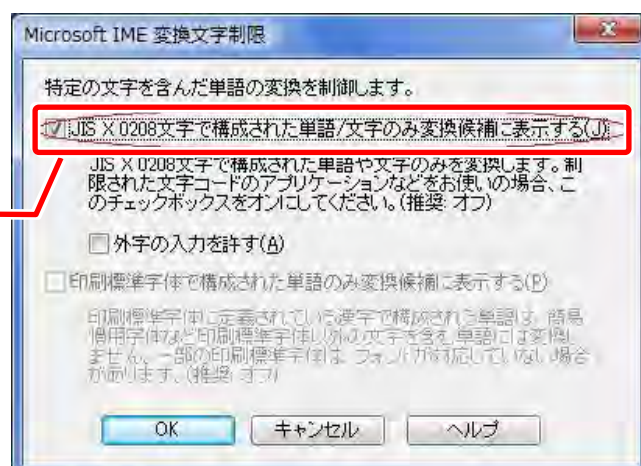
Step 1

Microsoft IME プロパティを開き、[変換]タブ→[変換文字制限(H)]ボタンをクリックする



Step 2

Microsoft IME 変換文字制限で、「JIS X 0208 文字で構成された単語/文字のみ変換候補に表示する(J)」にチェックを入れ、OKボタンをクリックする



【 Windows 7 の場合 】

(1) Windows 7 クライアント環境にJIS90 フォントパッケージをインストールします。詳細については、下記URL を参照してください。

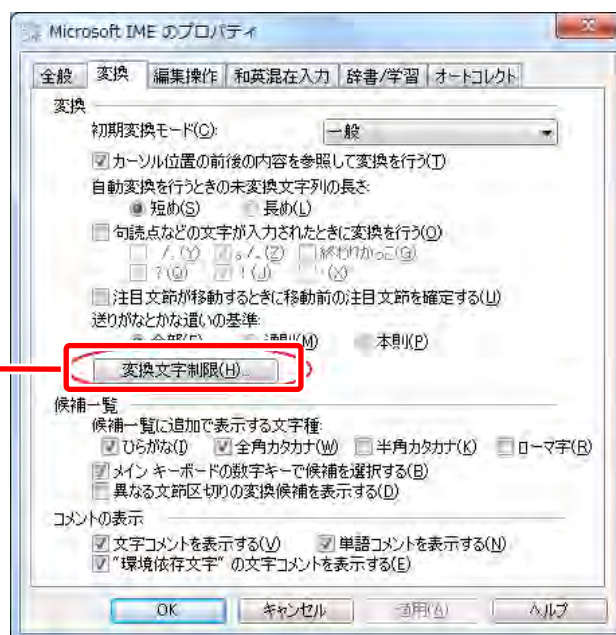
Windows 7 向けJIS90 フォントパッケージ:
<http://support.microsoft.com/kb/927490/ja>

※上記パッケージの適用により、[Windows Vista の場合]に記載されているJIS90 フォント環境と同等になります。詳細については[Windows Vista の場合]—「Windows Vista 向けJIS90 フォントパッケージ」のURLを参照してください。また、このパッケージには「Windows Vista 向けJIS90フォントパッケージ」と同様に、JIS2004 にて追加された文字(JIS90 フォント環境では使用できない文字)の入力を制限する機能が含まれていないことを確認していますので、コアシステムクライアント環境として使用する場合には、必ず下記(2)の対応をあわせて実施してください。

(2) 日本語入力用IME での変換対象を従来の「JIS90」に制限します。以下にMicrosoft IME における対応方法を示します。

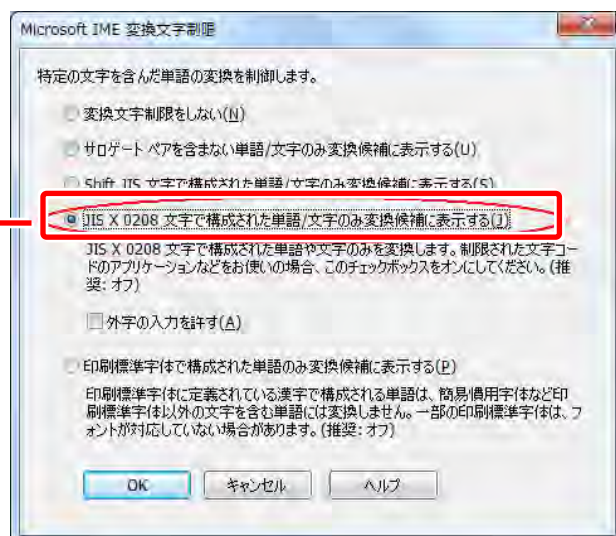
Step 1

Microsoft IME プロパティを開き、[変換]タブ→[変換文字制限(H)]ボタンをクリックする



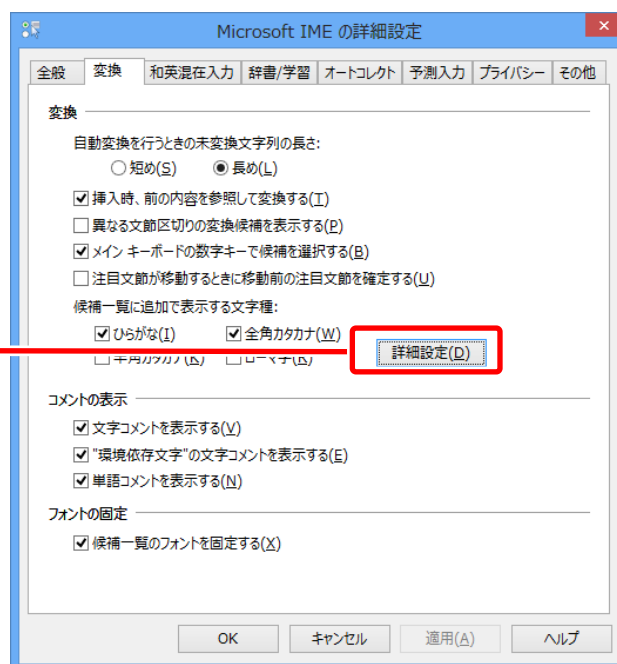
Step 2

Microsoft IME 変換文字制限で、「JIS X 0208 文字で構成された単語/文字のみ変換候補に表示する(J)」を選択し、OKボタンをクリックする



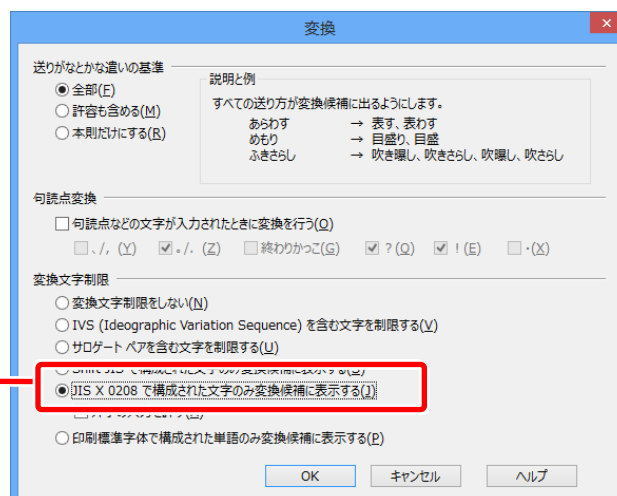
Step 1

Microsoft IME プロパティを開き、[変換]タブ→
[変換文字制限(H)]ボタンをクリックする



Step 2

Microsoft IME 変換文字制限で、「JIS X 0208
文字で構成された単語/文字のみ変換候補に表示する(J)」を選択し、OKボタンをクリックする

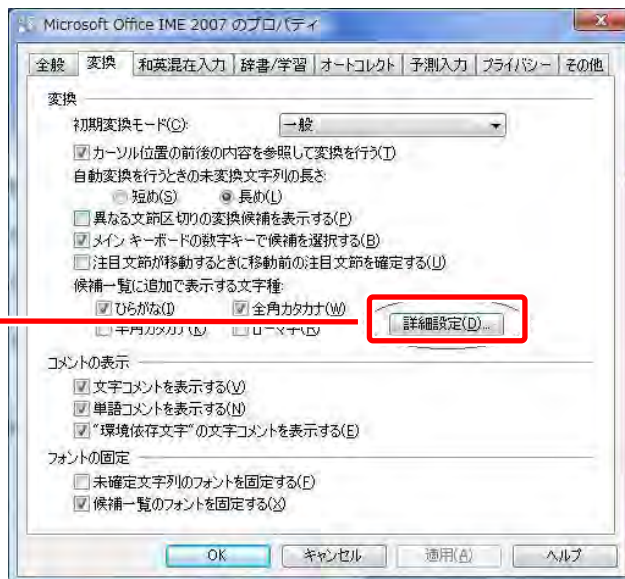


【 Microsoft Office 付属の IME 2007/2010 の場合 】

(1) Microsoft Office 付属のIME を利用し、コアシステムクライアント環境を導入する場合は下記の対応を行い、JIS90 フォント環境を使用するように対応してください。

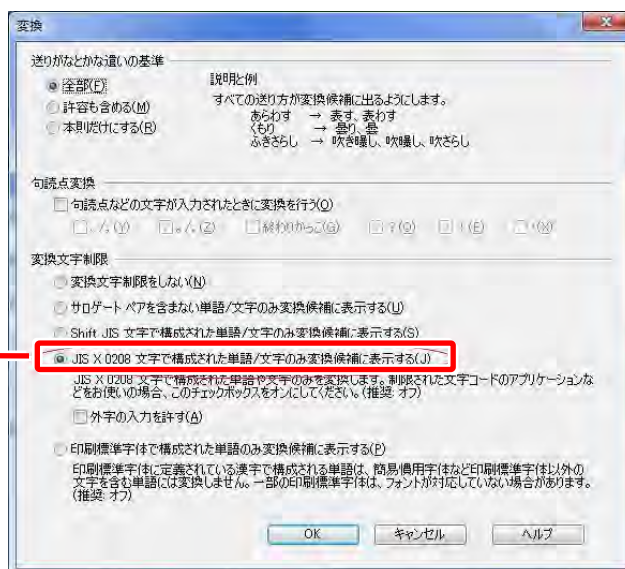
Step 1

Microsoft Office IME プロパティを開き、[変換]タブ→[詳細設定 (D)]ボタンをクリックする



Step 2

Microsoft IME 変換文字制限で、「JIS X 0208 文字で構成された単語/文字のみ変換候補に表示する(J)」を選択し、OKボタンをクリックする



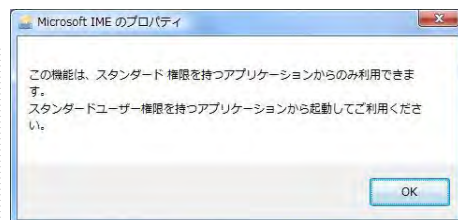
SOS

お困りのときは

IME 2007 のプロパティが正常開かない場合

IME 2007 のプロパティを開く際、ご使用の環境によって右に示すメッセージが発生し、設定が変更出来ない場合があります。

この現象が発生した際は、Microsoft ホームページの以下の URL に記載されております情報を参考に対応を行ってください。



KB931482 Windows Vista の Internet Explorer 7 で顔文字などの登録した単語が使用できない

<http://support.microsoft.com/kb/931482/ja>